

内水氾濫、浸水被害への対策

質問 8月14日の集中豪雨では沖之川流域で内水氾濫が発生し、村松・鷺津地区で浸水被害が発生した。取付けた水位計、浸水センサーは機能したか。今後の活用を更に検討すべきではないか。

回答 センサーは作動し、周辺住民の避難に役立った。今後、降雨量と河川の水位の関係、袋井排水機場の運転方法などデータを収集して災害対策に活かして行きたい。



↑内水氾濫で浸水した鷺津地区(8/14)

沖之川流域は、高低差が少なく、勾配は2/1000となっている。このため下流への流下能力が低く、内水氾濫が発生しやすい地域となっている。昭和45年には袋井排水機場が設けられたが、この施設は水田被害を防止するための湛水防除事業として整備されたもので、都市型排水としては十分に機能していない。今後、流域一帯の河川整備と共に、この排水機場の効率的な運用も課題となっている。

→永楽町にある袋井排水機場



事業用太陽光発電の設置促進

質問 市内には最終処分場跡地や貯水池など太陽光発電の設置を見込める施設がある。事業者に貸し出すなど、検討をする必要があると思うがどのように考えているか。

回答 市内の処分場跡地は、監視期間中であり設置は難しい。また広場として整備中のものもある。貯水池など遊休地については、市財産の有効活用にもなるので、実施に向けた取り組みを行って行きたい。



↑友好市・山梨県北斗市の大規模な太陽光発電施設の実験施設

袋井市の「健康寿命」「お達者度」

質問 国が行った健康寿命調査では、静岡県は全国1位の発表があった。県も「お達者度」を調査しているが「日本一健康文化都市」を掲げる当市の取り組みはどうか。

回答 今回の調査から当市が元気な高齢者が多いまちであることが分かり、大変喜ばしい結果と考えている。これからも生活習慣病の予防や元気に暮らすための介護予防事業に積極的に取り組んで行きたい。

■厚労省の「健康寿命」ランク

健康面の支障がなく日常生活を送れる期間

順位	男性		女性	
1位	愛知県	71.74	静岡県	75.32
2位	静岡県	71.68	群馬県	75.27
3位	千葉県	71.62	愛知県	74.93
4位	茨城県	71.32	沖縄県	74.86
5位	山梨県	71.20	栃木県	74.86
	全国平均	70.42	全国平均	73.62

■厚労省の「お達者度」ランク

65歳から要介護2～5にならない期間

順位	男性		女性	
1位	長泉町	19.05	吉田町	21.67
2位	磐田市	18.18	伊豆市	21.49
3位	浜松市	17.95	東伊豆町	21.47
4位	裾野市	17.86	裾野市	21.27
5位	藤枝市	17.82	袋井市	21.25
※17位	袋井市	17.28		
	県平均	17.30	県平均	20.68